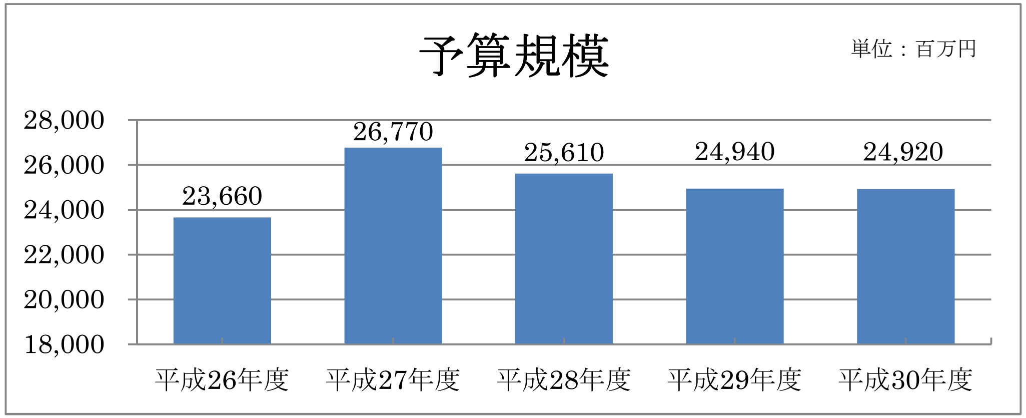
平成30年度予算案のあらまし

天　理　市

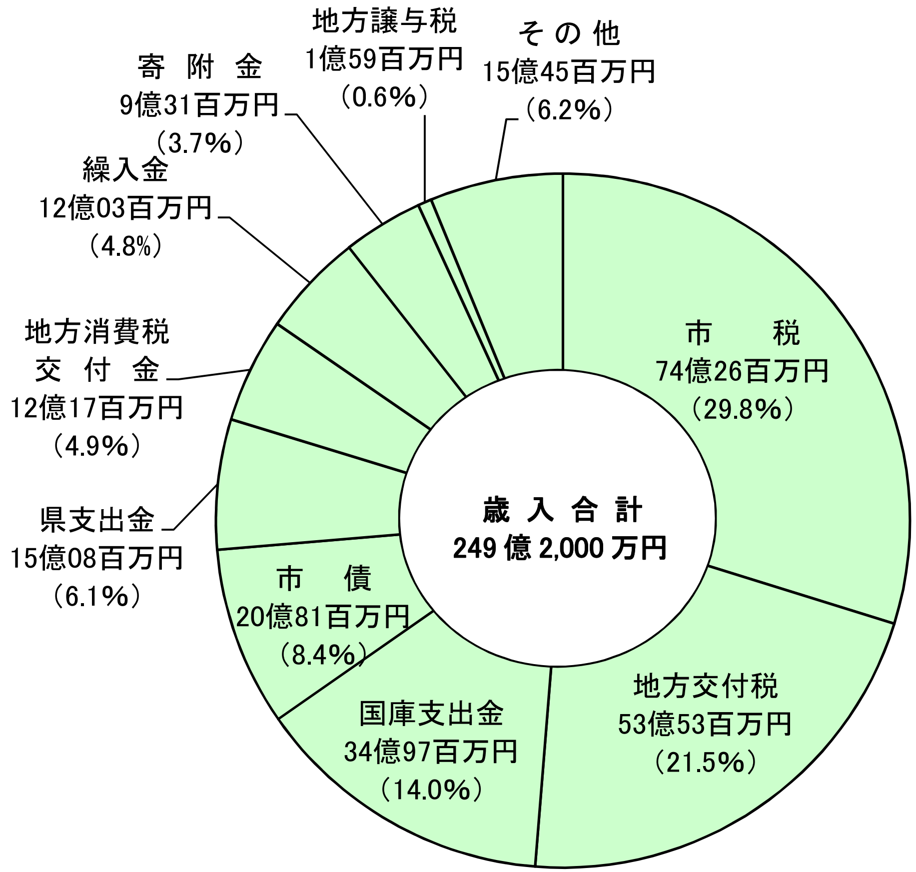
『平成30年度予算案』

◎一般会計予算　24,920百万円　（対前年度比　△20百万円、0.1%減）

◎全会計予算合計　45,030百万円　（対前年度比　△1,666百万円、3.6%減）



『一般会計　歳入』



〔主な歳入の状況〕

①市税

市民税については、個人・法人市民税ともに前年度並みと見込んでいる。固定資産税については、家屋において当該年度が評価替の年度にあたるため減収を見込むものの、償却資産において大規模設備の事業開始等による増収を見込む。たばこ税については、たばこ離れが進んでいること等により減収を見込んでいる。

市税全体では、前年度と比較し55百万円(0.7%)の増加

②地方交付税

基準財政収入額の増加を見込み、前年度と比較し2億2百万円(3.6%)の減少

③国庫支出金

文化財保護事業に係る国庫支出金が増加するものの、都市計画街路事業及び臨時福祉給付金事業に係る国庫支出金の減少等により、前年度と比較し1億71百万円（4.6%）の減少

④市債

観光施設整備事業債が減少するものの、農業農村整備事業債及び小学校整備事業債の増加により、前年度と比較し3億4百万円(17.1%)の増加

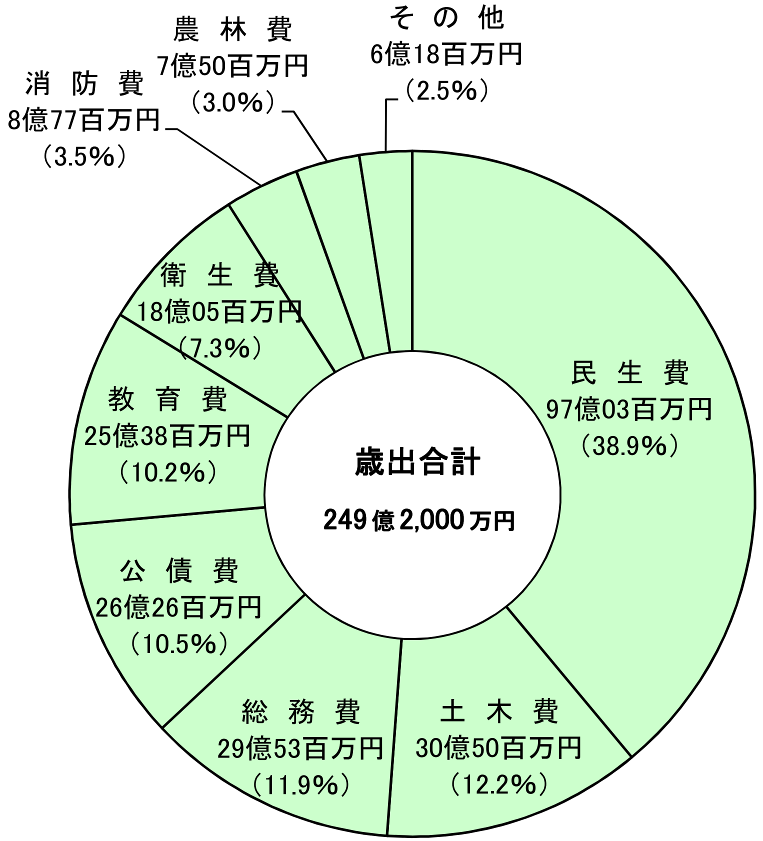
⑤県支出金

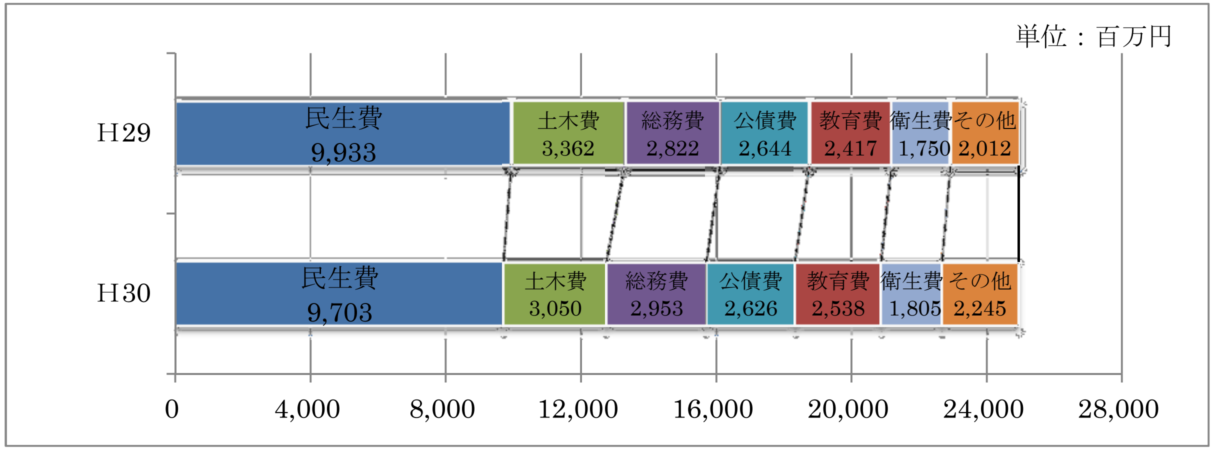
国民健康保険基盤安定負担金及び県市まちづくりに関する包括連携協定交付金の減少等により、前年度と比較し2億63百万円（14.9%）の減少

⑥繰入金

財政調整基金及び公共施設整備基金等の繰入金の増加により、前年度と比較し2億34百万円(24.1%)の増加

『一般会計　歳出』





〔主な目的別歳出の状況〕

①民生費

民生費の予算額は 97 億 3 百万円で、前年度と比べ２億 29 百万円(2.3%)減少しており、歳出全体の 38.9%を占めている。内訳は、社会福祉費(障害者福祉、老人福祉等)が 42 億 3 百万円、児童福祉費が 43 億 15 百万円、生活保護費が 11 億 85 百万円等となっている。

【主な増減】児童福祉費の増加及び国民健康保険特別会計繰出金の減少

②土木費

土木費の予算額は事業進捗に合わせた所要額を見積り、30 億 50 百万円を計上。前年度と比べ３億 12 百万円(9.3%)減少しており、歳出全体の 12.2%を占めている。内訳は、都市計画費が 23 億 38 百万円、道路橋りょう費が４億 27 百万円、住宅費が１億９百万円、河川費が 29 百万円等となっている。

【主な減少】都市計画街路改良工事費及び道路改良工事費の減少

③教育費

教育費の予算額は 25 億 38 百万円で、前年度と比べ１億 21 百万円(5.0%)増加しており、歳出全体の 10.2%を占めている。内訳は、小学校費が８億 50 百万円、幼稚園費が６億 79 百万円、社会教育費(文化財保護、公民館等を含む)が３億 43 百万円等となっている。

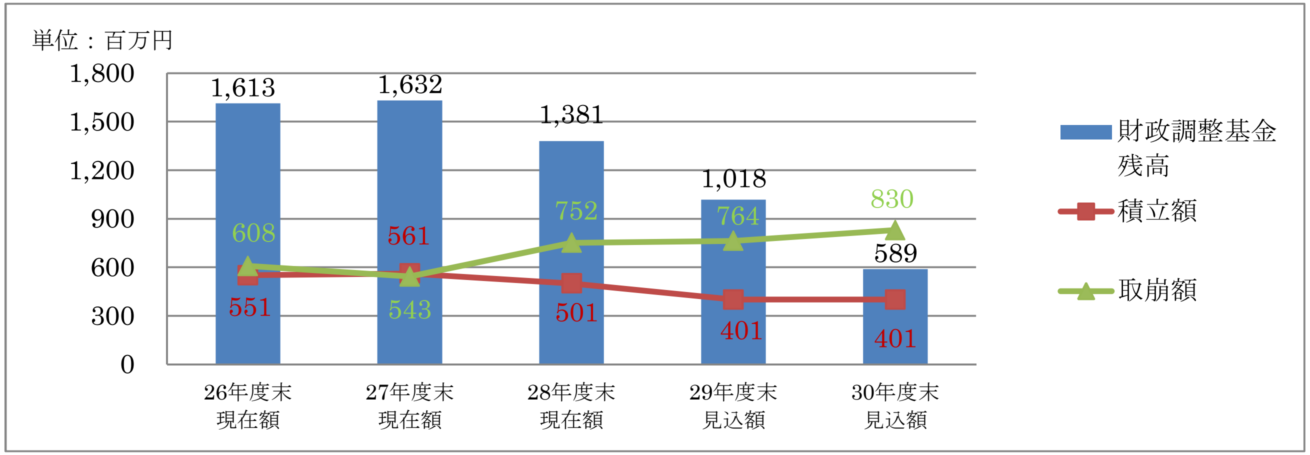
【主な増減】各小学校整備工事費（空調設備整備工事等）の増加及び柳本幼稚園整備工事費の減少

④衛生費

衛生費の予算額は 18 億 5 百万円で、前年度と比較し 55 百万円（3.1%)増加しており、歳出全体の 7.3%を占めている。内訳は、保健衛生費が７億 63 百万円、清掃費が 10 億 42 百万円となっている。

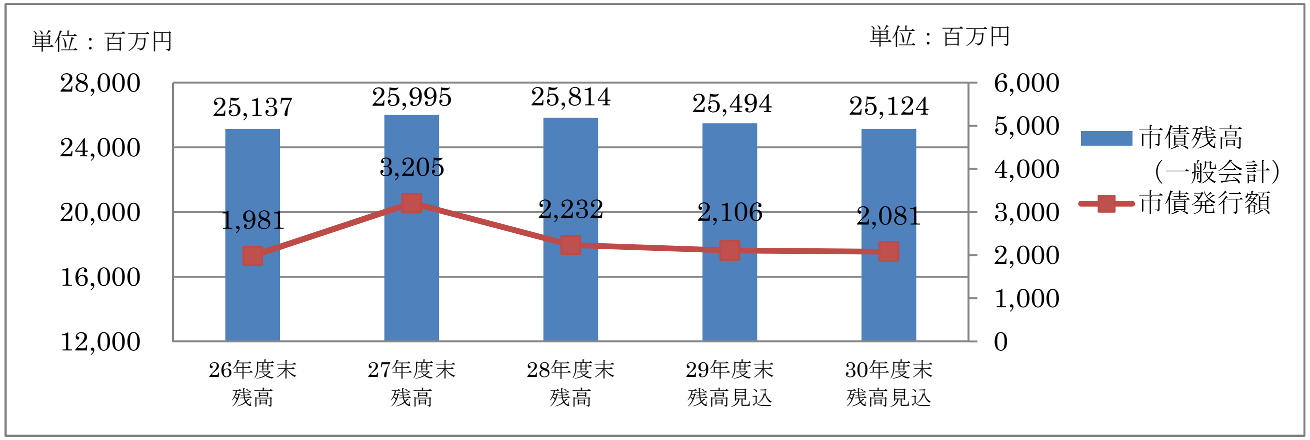
【主な増減】旧市立病院解体工事費の増加及び解体に伴う廃棄物処理委託費の減少

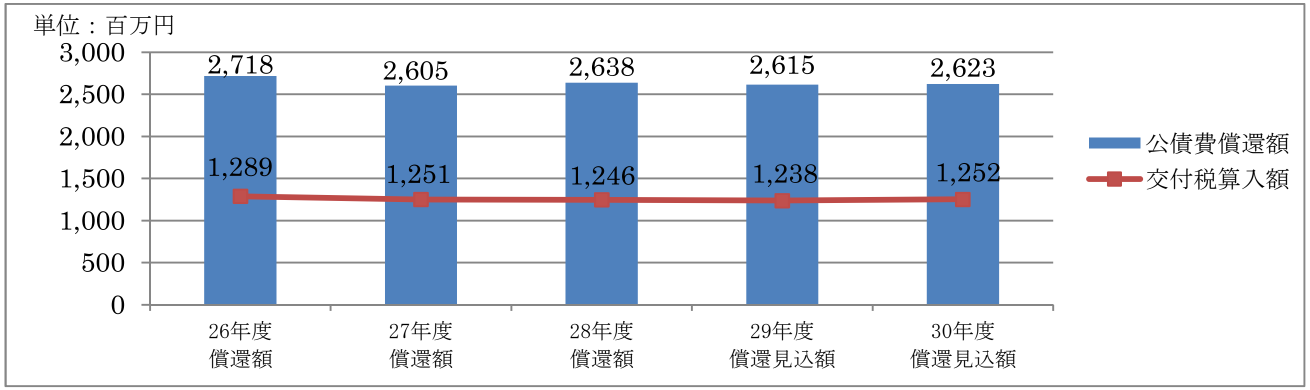
『財政調整基金と市債』



財政調整基金

平成 30 年度財政調整基金の取崩額は 830 百万円となり、前年度当初予算を 120 百万円上回ることとなった。平成 30 年度末財政調整基金の残高見込額は、589 百万円で推移するものと見込む。





市債

平成 30 年度市債発行額は、2, 081 百万円となり、前年度当初予算を 304 百万円上回ることとなった。これは、観光施設整備事業債が減少するものの、農業農村整備事業債及び小学校整備事業債など、普通建設事業に係る市債が増加したことが主な原因である。

平成 30 年度末の市債残高は、25, 124 百万円（前年度比 370 百万円減）で推移するものと見込む。

平成 30 年度市債償還額は 2, 623 百万円（前年度比 8 百万円増）となる見込みである。そのうち 1, 252 百万円分については地方交付税により措置される予定である。

『これからも住み続けたいまち天理』、『共に支え合うマチ天理』を目指して～四つの基本目標～

平成30年度予算編成においては、地方創生の中で、「これからも住み続けたいまち天理」、「共に支え合うマチ天理」を目指して以下の四つを基本目標として掲げ、それぞれに設定した施策に重点化した予算編成を行いました。

【新規】…新規事業　【拡充】…拡充事業　【創生】…地方創生推進交付金事業

単位：千円

Ⅰ　地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける場を創出する

①	コフフンマルシェ開催事業【創生】	1,728
②	中小企業金融対策（融資枠５億円、融資保証料補給、利下げ補給等）	11,420
③	特産品開発事業	380
④	経営所得安定対策推進事業	4,824
⑤	市単独土地改良事業、諸土地改良事業	507,413
⑥	農村基盤総合整備事業	50,824
⑦	若者世代男女共同就業促進事業【創生】	3,832
⑧	産業振興館運営事業	10,999
⑨	企業立地支援事業（事業所設置奨励金）	10,510
⑩	ＩＣＴを活用した新たな働き方推進事業【創生】	9,531
⑪	創業支援事業【創生】	2,060
⑫	柔軟な働き方による就職支援事業【新規・創生】	714
⑬	地域資源を活かした地場産品活性化事業【創生】	5,400

⑦　若者世代男女共同就業促進事業　3,832 千円
⑩　ＩＣＴを活用した新たな働き方推進事業　9,531 千円
⑪　創業支援事業　2,060 千円
⑫　柔軟な働き方による就職支援事業　714 千円

夫が家事・育児時間を延長することで、母子の健康維持の増進や、身体的・精神的ゆとりを就労に結びつけ、経済的に出産をためらっている状況を改善するため、若者世代男女共同就業促進事業に取り組みます。

また、都市部企業の、テレワークを通じた雇用ニーズ（３Ｄ設計デザイン技術者の確保等）に応じて、子育て女性を対象に必要となる技術訓練を行い、都市部の仕事を受注する就業マッチングを行うとともに、テレワークの特性を活かし、新たに都市部企業に遠隔雇用される障がいをお持ちの方の就労支援を行います。

さらに、子育て世代の女性や若者を対象にキャリアコンサルタントによる相談業務を３センターと連携して新たに実施し、自分にあった仕事への就労を支援します。

Ⅱ　天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れを作る

①	空家対策事業【創生】	837
②	天理芸術フェスタ開催事業【創生】	17,548
③	芸術通り構築事業【創生】	6,604
④	アーティスト・イン・レジデンス実施事業【創生】	2,056
⑤	山の辺フィルムコミッション事業【創生】	1,300
⑥	天理市総合型地域スポーツクラブ支援事業【拡充】	4,304
⑦	ラグビーWC、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致事業	1,000
⑧	市立総合体育館リニューアル事業【新規】	882
⑨	周遊観光事業【創生】 （周遊観光イベント、観光コンシェルジュ）	8,400

③　芸術通り構築事業　6,604 千円

（仮称）奈良県国際芸術家村の開村を平成 33 年に控え、まちづくりに芸術家村を活かすべく、その仕組みづくりを進めています。天理駅周辺と、国際芸術家村の２つの芸術文化拠点を含んだエリアを芸術文化エリアと位置付け、その中心的存在として芸術通りの構築を計画的に進めていきます。

平成 30 年度は芸術通りのルートを設定し、ルート上に空き店舗等を活用した民間アートスペースを誘致します。アートスペースは平成 30 年度からモデル的に実施するアーティスト・イン・レジデンスの作品発表など今後芸術通りで展開する新たなソフト事業の実施場所として活用します。また、地域芸術祭の開催について、あり方や体制などの検討を始めていきます。

⑩	芸術家村周辺エリア情報発信事業【創生】	8,532
⑪	三世代同居・近居住宅支援事業	2,000
⑫	文化財の保存と活用事業【創生】	7,941
⑬	西乗鞍古墳整備事業	35,132
⑭	周遊観光施設（駐車場）整備事業	10,611

⑬　西乗鞍古墳整備事業　35,132 千円

西乗鞍古墳は全長１１８ｍの大型前方後円墳で、大和青垣国定公園に含まれています。本事業では、西乗鞍古墳の史跡指定を受け、文化庁史跡等買上げ事業補助金を活用して周濠部の用地買収を行います。これにより、貴重な歴史文化財である西乗鞍古墳を保護保存するとともに、市民の憩いの場として活用していきます。また、奈良県国際芸術家村の周辺観光の拠点として活用することで、多くの人々に本市の古墳文化について周知を深めることができます。

Ⅲ　子どもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる

①	子ども医療費助成	169,180
②	ひとり親家庭等医療費助成	41,000
③	児童手当の支給	1,140,600
④	児童扶養手当の支給	332,777
⑤	子育て支援事業（地域子育て支援拠点事業補助　（４ヵ所）等）	40,151
⑥	天理市版ネウボラ深化事業【創生】	610
⑦	学童保育の実施【拡充】	114,676
⑧	学童保育施設整備事業	28,113
⑨	保育サポート教員の配置（幼稚園）	15,174
⑩	長時間預かり保育サポート事業（櫟本・二階堂・柳本幼稚園）	7,980
⑪	妊婦一般健康診査費用助成	44,168
⑫	子宝支援助成（不妊治療費助成）	1,250
⑬	子育てコンシェルジュ事業、産前・産後サポーター事業、産後ケア事業	4,483
⑭	ICT を活用した英語授業推進事業	700
⑮	スクールサポート活用事業	13,481
⑯	学校・地域パートナーシップ事業	5,871
⑰	地域の豊かな社会資源を活用した多様な教育活動支援事業	410
⑱	小・中学校 ALT　（英語指導助手）招致事業	10,350
⑲	小中学校及び幼稚園改修事業	48,819
⑳	各小学校空調設備整備事業	369,440
㉑	柳本幼稚園園舎耐震補強事業	46,282
㉒	放課後わくわく広場事業	879
㉓	放課後講習「まなびタイム」推進事業	2,340
㉔	伝統文化芸術体験事業【創生】	562
㉕	スクールカウンセラー巡回相談事業	4,060
㉖	スクールソーシャルワーカー巡回派遣事業	840

⑦　学童保育の実施　114,676 千円
⑧　学童保育施設整備事業　28,113 千円
⑩　長時間預かり保育サポート事業　7,980 千円

二階堂学童保育所及び井戸堂学童保育所において、平成 30 年度待機児童が発生する可能性があるため、児童が通う両小学校の余裕教室や余裕施設を利用して、新たに第二学童保育所を設置し、合計 60 名分の受け入れ枠を拡大し、学童保育の充実を図ります。このためのキッチンの設置やトイレの改修など、児童が安全で衛生的に生活できるように必要な改修を行います。

また、市立幼稚園では、保育所待機児童解消と多様な保育ニーズに応える子育て支援の一環として、従来の長時間預かり保育実施園（櫟本・二階堂・柳本）に加え、平成 30 年度中に前栽幼稚園で長時間預かり保育と市内全園で長期休業中の火・木・金曜日の８時 30 分から 16 時まで預かり保育を実施します。

⑳　各小学校空調設備整備事業　369,440 千円

小学校８校の普通教室に空調設備を新設します。空調設備を新設することにより、室温上昇による児童の集中力の低下、および熱中症になる危険を防止します。

㉗	いじめ防止対策推進事業	459
㉘	不登校、ひきこもり対応（適応指導教室、学科指導教室の充実等）	7,988
㉙	特別支援教育支援員の配置（小中学校）	17,043
㉚	天理駅前広場における政策アウトリーチ事業【創生】	5,225

Ⅳ　垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる

①	メディカルセンター管理事業	1,785
②	特定健診、肝炎検診、各種がん検診等の実施	42,922
③	各種予防接種、子宮頸がんワクチン等予防接種事業の実施	151,731
④	介護予防リーダー事業	823
⑤	地域支え合い事業	3,665
⑥	特別給付費【新規】	396
⑦	生活支援体制整備事業【新規】	509
⑧	街づくり協議会実施事業	176
⑨	地域総活躍まちづくり提案事業	2,000
⑩	災害対策 （自主防災組織補助、非常備消防事業、備蓄物資購入等）	49,131
⑪	全国瞬時警報システム（Ｊアラート）新型受信機設置事業【新規】	5,299
⑫	コミュニティバス「いちょう号」運行　２路線	26,954
⑬	デマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」運行　区間運行方式４系統	12,618
⑭	地域公共交通網形成計画策定事業【新規】	9,742
⑮	山辺・県北西部広域環境衛生組合事業	144,692
⑯	地域経済応援ポイント活用事業【新規】	1,500
⑰	行政情報配信サービス事業	1,167
⑱	ＥＳＣＯ事業準備調査等事業【新規】	8,629
⑲	防犯灯ＬＥＤ化事業【新規】	3,024
⑳	総合計画策定事業【新規】	11,331
㉑	未収金対策支援事業	878

⑳　総合計画策定事業　　<u>11,331 千円</u>

本市のすべての計画の最上位に位置する「天理市第５次総合計画」の計画期間が平成31年度に終了することから、次期総合計画を平成30・31年度の２ヶ年度で策定します。

また、市政の中心施策の具体的な進め方を含め計画した「天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間も平成31年度をもって終了することから、次期総合戦略を次期総合計画と一本化する形で策定します。

④　介護予防リーダー事業　　<u>823 千円</u>
⑤　地域支え合い事業　　<u>3,665 千円</u>
⑦　生活支援体制整備事業　　<u>509 千円</u>

一人暮らしなどで日常的な家族の支援が受けられない高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らせる、地域で支え合う関係づくりに取り組みます。これ以外にも、メディカルセンターにまちかど相談室、地域包括ケア広場を開設するなどにより、在宅医療と介護の連携や認知症高齢者等への支援を行い、高齢者の在宅での自立を支援するなど、地域包括ケアの取組を進めます。また、市民の中から育成された介護予防リーダーにより高齢者の運動習慣の定着と地域サロンの創出を目指し、また、社会的課題を解決するサービスに事業成果に応じて成果報酬を支払う仕組み「ソーシャル・インパクト・ボンド」により認知症予防教室を全国で初めて実施しています。

⑭　地域公共交通網形成計画策定事業　　<u>9,742 千円</u>

住民の生活や社会活動に欠かすことのできない地域公共交通の維持が全国的な課題となる中、平成26年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正を受け、平成30年度に計画期間が終了する「地域公共交通総合連携計画」に替わり、新たに「地域公共交通網形成計画」を策定します。

⑯　地域経済応援ポイント活用事業　　<u>1,500 千円</u>

「マイキープラットフォーム構想」による地域経済活性化を推進するため、マイナンバーカードを活用し、公共施設等の様々な利用者カードを一枚で可能にするとともに、本市が行政ポイント（いちょう体操天理やＳＴＥＰ体操などの健康増進事業）を付与することに併せ、クレジットカードなどのポイントやマイレージを地域経済応援ポイントとして付与し、市内の加盟店での買い物に利用いただくことで地域の消費拡大につなげる取組を市商工会と連携して実施します。

地方創生推進交付金事業

1．働き方改革による、安心して産み・育て・働けるまちづくり　　21,972 千円

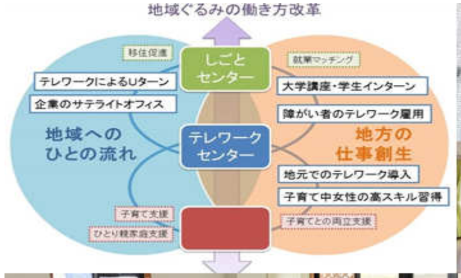
本市は京阪神都市部への通勤アクセスの条件が近隣市に比べ不便なため、現役世代の転出が多く、転出抑制と定住促進に向けて、本市で働きたい人が働くことができる場の創出が求められています。また、理想の子ども数を持てない理由として、子育てや教育にお金がかかり過ぎるという経済的理由が多く、経済的な負担軽減と現役世代が働きやすい環境づくりが課題になっています。そこで、本市では、地方創生推進交付金を活用し、子育て世代すこやか支援センター、しごとセンター及びテレワーク拠点の３つの拠点で連携して「働き方改革による、安心して産み・育て・働けるまちづくり」に向けた事業を行っています。

子育て世代すこやか支援センターでは、妊娠から出産、子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を行う「天理市版ネウボラ」を構築していますが、これをさらに深化させ、子育て女性の「孤育て」化を防ぐための事業を展開します。具体的には、同センターにおける講座等の充実や本市の子育て支援施策や子育て支援団体の様々な取組を紹介するイベント等を開催します。また、育児や家事に積極的に関わる男性の育成を目指した連続講座や教室等を開催するとともに、講座やイベントに参加した男性同士又は家族同士のネットワーク構築を図る事業を実施します。

天理市しごとセンターでは、新たにキャリアコンサルタントを配置し、しごとセンター・テレワーク拠点・子育て世代すこやか支援センターにおいて、若者や子育て世代の女性の仕事探しや履歴書の書き方、面接でのマナー等の指導を行うとともに、就労と育児の両立等に対する心理的不安の解消を図るためのカウンセリングを実施することで、若者・子育て世代女性を就労に結び付けます。さらに、キャリアコンサルティングのツールとして、収集した市内企業の情報とともにハローワークが有する就職情報を若者・子育て世代女性に紹介します。また、昨年に引き続き商工会による創業支援セミナーを支援し、創業希望者に創業に必要なノウハウ等を身につけてもらうとともに、セミナー修了者を中心に実験店舗の貸付けを行い、市内創業に向けたサポートを充実させます。

テレワーク拠点では、都市部企業のテレワークによる雇用ニーズの高い３ＤＣＡＤデザインに関する技術訓練を子育て女性に実施し、受講後の就労を支援します。また、障がい者の就労支援として、新たに障がい者を対象としたテレワークスキル訓練を実施します。

また、上記３拠点において展開される子育て世代の支援施策等については、多くの人々でにぎわう天理駅前広場コフフンにおいて出張開催や情報提供を行ってアウトリーチを図ることで、当該施策に対する低関心層や潜在的ニーズを持つ層にも３つの拠点における支援施策を活用いただけるように、人と施策をつなげていきます。



○事業費

・若者世代男女共同就業促進事業	3,832 千円
・ICT を活用した新たな働き方推進事業	9,531 千円
・柔軟な働き方による就職支援事業	714 千円
・天理市版ネウボラ深化事業	610 千円
・創業支援事業	2,060 千円
・天理駅前広場における政策アウトリーチ事業	5,225 千円

２．歴史文化資源を核とした文化・芸術振興の拠点づくりプロジェクト　　　60,908 千円

本プロジェクトでは、奈良県が、地域の最大の強みである歴史文化資源を活用し、文化・芸術振興の拠点として本市杣之内町に平成 33 年度の開村予定で整備を進める「（仮称）奈良県国際芸術家村」のオープンに向け、県と天理市が連携・協力して、エリアでの文化・芸術の振興、芸術家村と天理駅前広場やトレイルセンター等の観光交流拠点とを結んだ周遊観光、地元産品の販売等を見据えた取組を促進するなどの事業を展開していきます。

平成 30 年度の具体的な取組として、本市がすでに実施している多様な文化・芸術コンテンツを「芸術フェスタ」の名の下に集約して実施するとともに、「天理芸術通り」の認知度アップを目指して開催するイベント（仮称 芸術祭）の企画検討を行います。また、芸術家が一定期間本市に滞在して創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」のモデル事業を実施するとともに、ルートのメイン区間である天理本通り商店街の空き店舗等を活用したアーティスト・イン・レジデンス事業における作品展示やワークショップ、地域交流イベントやまちなか美術館としての作品展示等に利用できるアートスペース（１カ所）を誘致します。また、「空き家バンク」を構築し、その活用により、芸術家の創作・滞在拠点の確保も進めていきます。

一方、本市には 1,500 基を超える古墳群が存在し、古代国家発祥の地として重要な文化財が数多く残されており、これらの文化資源を芸術家村の展示や芸術家村周辺エリアのにぎわい作りにも活用するため、古墳等から出土した武具類の保存処理や史跡指定が見込まれる西乗鞍古墳周辺の美観向上を図ります。また、芸術家村周辺エリアの情報発信強化として、芸術家村周辺エリアにおける周遊サイクルイベントやウォーキングイベントも昨年度に引き続き開催するほか、新たに天理ブランドの全国誌プレスツアーの開催や本市に関わる「人」に焦点を当てたコラムのＷＥＢサイトでの公開等を実施していきます。

○事業費

・芸術通り構築事業	6,604 千円
・アーティスト・イン・レジデンス実施事業	2,056 千円
・芸術家村周辺エリア情報発信事業	8,532 千円
・空家対策事業	837 千円
・山の辺フィルムコミッション事業	1,300 千円
・コフフンマルシェ開催事業	1,728 千円
・地域資源を活かした地場産品活性化事業	5,400 千円
・天理芸術フェスタ開催事業	17,548 千円
・周遊観光事業	8,400 千円
・伝統文化芸術体験事業	562 千円
・文化財の保存と活用事業	7,941 千円